



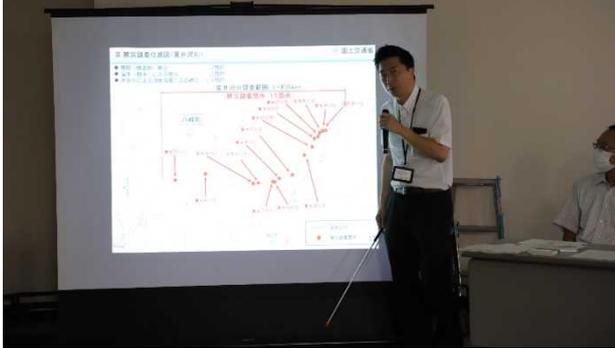
青森河川国道ニュース



お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577

青森河川国道事務所では9月12日(火)～15日(金)の4日間、就業体験技術実習(インターンシップ)を実施しました。今回の青森河川国道ニュースはインターンシップを通して実習生が作成したものを掲載します。

TEC Forceの調査報告発表会



インターンシップ1日目にTEC Forceの調査報告発表会を見学させてもらった。

令和5年7月秋田県を中心に記録的な大雨となり、秋田県内各地域では記録史上最も多い雨量が観測された。TEC Forceが編成され5日間被災地へ赴き被害の調査や被災箇所の対応等を報告し災害復旧に大いに貢献した。

また若手勉強会も兼ねており、若手中心の報告会となっていてまだTEC Forceとして、派遣されたことのない若手や既に派遣されたことのある職員にとっても充実した報告会となっていた。

※TEC Force (Technical Emergency Control Force)

国土交通省の職員が被災地現場に出向き被災状況調査、災害対応について技術的助言、災害対策用機械による応急復旧等について支援している。



インターンシップ3日目 津軽ダム見学

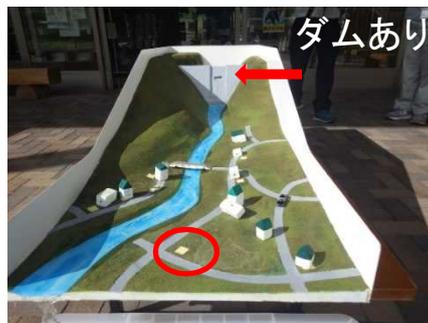
昨年8月津軽地方を中心に記録的な大雨が降り青森県初となる線上降水帯が観測された。その際津軽ダムと浅瀬石川ダムの連携により岩木川の水位の低減に大きく貢献している。



また津軽ダムは地域活性化にも力を入れており、白神の自然を損なわないよう配慮したデザインやライトアップ、イルミネーション等観光目的でも十分に楽しめる場所となっている。

2017年度にはグッドデザイン賞を受賞しており国直轄のダムでは全国初である。

ダムの効果の実験



矢印部分のように穴が開いてるだけの調節方法を自動調節方式と呼ぶ。津軽ダムもこれを採択している。

ダムがないと雨が降った分だけ川へ流れるがダムがあると川へ流れる水の量を大幅に減らし、川へ流れない分はダムへと貯めている。長い時間をかけて少しずつ水を放出しているため同じ量の雨が降っても川への影響の差は歴然である。

※最後に4日間インターンシップをさせて貰ったが学ぶことも多く非常に有意義な経験だった。